

平成28年度防衛調達審議会活動概要

1 開催状況

平成28年度においては、第134回から第141回（計8回）の防衛調達審議会を開催するとともに、航空自衛隊の部隊活動並びに装備品等の運用状況及び整備業務について現地視察を実施した。

2 委員

会 長	渡邊 一弘 ^{※1}	（弁護士、東海大学法科大学院教授）
会長代理	尾畑 裕 ^{※2}	（一橋大学大学院商学研究科教授）
委 員	砂田 充	（法政大学経済学部教授）
委 員	藤川 裕紀子	（公認会計士 藤川裕紀子公認会計士事務所）
委 員	星 千絵	（弁護士 田辺総合法律事務所）
委 員	山口 更織	（公認会計士 有限責任監査法人トーマツ）
委 員	山田 澤明	（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）

※1 平成29年1月18日 会長へ選任（継続）

※2 平成29年1月18日 会長代理へ指名（継続）

3 調査審議対象機関

防 衛 装 備 庁（中央調達・地方調達）

陸 上 自 衛 隊（補給統制本部・北海道補給処・東北補給処・関東補給処・関西補給処・九州補給処）

海 上 自 衛 隊（補給本部・艦船補給処・航空補給処）

航 空 自 衛 隊（第2補給処・第2補給処十条支処・第3補給処・第4補給処）

4 調査審議等の状況

（1）サンプリング調査審議の状況

平成28年度のサンプリング調査審議において、調査審議した契約件数は次表のとおり。

平成28年度 サンプルング調査審議の実施契約件数

開催回	調査審議 対象機関	随意契約等に係る サンプルング調査 審議	1者応札・1者応募案 件に係るサンプルン グ調査審議	計
第135回 (28.5.25)	防衛装備庁 (第1回)	(需品又は武器調 達官担当分) 1件	2件	3件
第136回 (28.7.13)	防衛装備庁 (第2回)	(電子音響調達官、 艦船調達官又は通信 電気調達官担当分) 1件	4件	5件
第137回 (28.9.14)	航空自衛隊	(第4補給処) 1件	5件	6件
第138回 (28.10.12)	陸上自衛隊	(補給統制本部) 1件	6件	7件
第139回 (28.11.16)	海上自衛隊	(補給本部) 1件	3件	4件
小計		5件	20件	25件
		仕様書等に係るサンプルング調査審議		
第141回 (29.2.15)	全機関*	10件 (陸自2件、海自2件、空自2件、装備庁4件(中央2件、地方2件))		
計		35件		

※ 「全機関」とは調査審議対象機関全てのことをいう。

サンプルング調査審議における主な指摘事項等は、別添「平成28年度防衛調達審議会での主な指摘事項等」のとおり。

なお、別添に記載の主な指摘事項等に対するフォローアップは、その後の審議会において実施している。

(2) フォローアップの実施状況等

平成28年度においては、主に平成27年度サンプルング調査審議での指摘事項等に対するフォローアップを第134回(平成28年4月)及び第135回(平成28年5月)に実施し、さらに、平成28年度サンプルング調査審議での指摘事項等に対するフォローアップを第140回(平成29年1月)において実施した。

(3) 指摘事項の周知について

第134回(平成28年4月)では、前年の第132回(平成28年1月)において

予定価格の算定業務に表計算ソフトを使用する場合の計算式の誤記入等により、結果的に適正でない数値を基に算定がなされるおそれがあり、所要の措置を講ずることが望ましいという指摘をしたことについて、事務局より関係機関に周知したことの報告を受けた。

(4) 談合・過大請求等の報告について

第134回に「迷彩服等の調達に関して談合が行われたとの報道について」、第138回に「装備品等の調達に係る指名停止措置等について」、第141回に「過大請求事案について」について、それぞれ報告を受けた。

各報告における委員の意見等を参考とすることとし、今後、同種の案件があれば、随時報告を受ける。

5 各回の審議概要

【第134回審議会】 平成28年4月20日（水）10：00～12：00

○ 平成27年度防衛調達審議会の活動概要等

平成27年度に開催された防衛調達審議会の審議概要等を取りまとめ報告。

○ 指摘事項の周知について

第132回防衛調達審議会において、予定価格の算定業務に表計算ソフトを使用する場合、計算式の誤記入等により、結果的に適正でない数値を基に算定がなされるおそれがあり、所要の措置を講ずることが望ましいという指摘がなされたことについて、事務局より関係機関に周知したことの報告を受けた。

○ 平成27年度サンプリング調査審議のフォローアップ

平成27年度に実施されたサンプリング調査審議での指摘事項等に関するフォローアップを実施した。

○ 迷彩服等の調達に関して談合が行われたとの報道について

防衛装備庁から、報道内容や調達実績等について説明を受けた。

【第135回審議会】 平成28年5月25日（水）10：00～12：00

○ 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成27年度防衛装備庁（第1回））

「81mmM、JM41A1りゅう弾、信管なし」について調査審議

○ 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議（平成27年度防衛装備庁（第1回））

1者応札1件、1者応募1件について調査審議

○ 平成27年度サンプリング調査審議のフォローアップ（陸上自衛隊）

平成28年熊本地震に係る災害派遣によって前回審議会で報告できなかった平成27年度に実施されたサンプリング調査審議（陸上自衛隊）での指摘事項等に関するフォローアップを実施。

○ 防衛装備庁における内部監察・監査の概要

防衛装備庁から、内部監察・監査を行う組織の概要や、これまでの取り組み等につ

いて説明を受けた。

【現地視察】 平成28年6月13日（月）～14日（火）

13日（月）航空自衛隊岐阜基地、防衛装備庁岐阜試験場

14日（火）三菱重工業（株）小牧南工場

【第136回審議会】 平成28年7月13日（水）10：00～12：00

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成27年度防衛装備庁（第2回））

「潜水艦（8126）」について調査審議

- 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議（平成27年度防衛装備庁（第2回））

1者応札2件、1者応募2件について調査審議

- 入札状況報告（平成27年度 第1・第2／四半期）

平成27年度第1・第2／四半期に行われた装備品等の競争入札を対象に、防衛省大臣官房監査課において抽出した不自然な入札案件について報告を受けた。

【第137回審議会】 平成28年9月14日（水）10：00～11：40

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成27年度航空自衛隊第4補給処）

「艦型標的（その2）」について調査審議

- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議（平成27年度航空自衛隊）

1者応札2件、1者応募3件について調査審議

【第138回審議会】 平成28年10月12日（水）10：00～12：00

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成27年度陸上自衛隊補給統制本部）

「多連装ロケットシステム自走発射機M270“オーバーホール”及び“改造”ほか4件」について調査審議

- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議（平成27年度陸上自衛隊）

1者応札4件、1者応募2件について調査審議

- 装備品等の調達に係る指名停止措置等について

防衛装備庁から、防衛省における装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領に関して説明を受けた。

【第139回審議会】 平成28年11月16日（水）10：00～12：20

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成27年度海上自衛隊補給本部）

「魚雷Dレベル定期検査」について調査審議

- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議（平成27年度海上自衛隊）

1者応札1件、1者応募2件について調査審議

- 弾火薬等に関する産業基盤維持に資する調達について

防衛装備庁から、防衛省における弾火薬等に関する産業基盤維持に資する調達につ

いて説明を受けた。

- 30年度以降の護衛艦の契約の在り方について
30年度以降の護衛艦の契約の在り方について説明を受けた。

【第140回審議会】 平成29年1月18日（水） 10：00～11：50

- 会長の選任及び会長代理の指名
- 防衛調達審議会の議事の取扱い等について
- 平成29年度防衛調達審議会開催計画
平成29年度防衛調達審議会開催計画等について事務局から説明を受け了承した。
- サンプルング調査審議のフォローアップ
平成28年度に実施したサンプルング調査審議での指摘事項等に関するフォローアップを実施した。
- 入札状況報告（平成27年度 第3・第4／四半期）
平成27年度第3・第4／四半期に行われた装備品等の競争入札を対象に、防衛省大臣官房監査課において抽出した不自然な入札案件について報告を受けた。

【第141回審議会】 平成29年2月15日（水） 10：00～12：00

- 平成29年度予算案について
平成29年度防衛予算案の概要について説明を受けた。
- 過大請求事案について
防衛装備庁から、東京航空計器株式会社による過大請求事案について説明を受けた。
- 仕様書等に係るサンプルング調査審議
(平成27年度 陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊及び防衛装備庁)
1者応札5件、複数者応札5件について調査審議。

平成28年度防衛調達審議会での主な指摘事項等

(随意契約等、1者応札・1者応募案件及び仕様書に係るサンプリング調査審議)

開催 回	対象 機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項
第 1 3 5 回 (2 8 ・ 5 ・ 2 5)	防 衛 装 備 庁 (第 1 回)	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「81mmM、JM41A1りゅう弾、信管なし」 (概要) この契約は、陸上自衛隊普通科中隊に装備された81mm迫撃砲 L16に使用する弾薬である。	概略的な価格動向の説明のみで、具体的な数字が示されていないため材料価格のトレンドを確認できず、本件の調達価格の正当性について評価できない。調達価格の正当性について、具体的な材料価格の数字などを示した上で、どのように分析・評価したのか具体的に説明されたい。
					平成27年度補正予算による調達分を含む価格推移表と下請けからの構成品納入価格の適正性及び価格推移の整合性についての分析資料を示して説明されたい。
					下請けからの構成品納入価格について、経費率の置き換え計算をして確認をしているとのことであるが、資料を示して説明されたい。
					木箱等を毎年梱包費として6千万円程度の予算を要しているが、選別基準により1割しか再利用しないと、残りの9割の部分についての処置状況を説明されたい。
					木箱等の売り払いについて、一般競争を行っているとのことであるが、どのような業者に売り払っているのか。売り払い実績と売り払いに係る具体的手続きについて、資料を示し説明されたい。
		1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議	一般競争	(1者応札) ・民間船舶の運航・管理事業	特になし。
第 1 3 6 回 (2 8 ・ 7 ・ 1 3)	防 衛 装 備 庁 (第 2 回)	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「潜水艦(8126)」 (概要) この契約は、平成26年度潜水艦の性能向上型である。	特になし。
			一般競争	(1者応札) ・衛星搭載型2波長赤外線センサの研究試作 ・高出力レーザーシステム構成要素の性能確認試験のための小型無人標的機操縦等作業(その1)	特になし。
		1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議	随意契約	(1者応募) ・プラスチックソノブイランチコンテナ ・電波実環境模擬実験装置(その1)の製造	特になし。
			一般競争	(1者応札) ・衛星搭載型2波長赤外線センサの研究試作 ・高出力レーザーシステム構成要素の性能確認試験のための小型無人標的機操縦等作業(その1)	特になし。

開催 回	対象 機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項
第 1 3 7 回 (2 8 ・ 9 ・ 1 4)	航空 自衛隊	随意契約等に 係るサンプリング調査審議	随意契約	「艦型標的(その2)」 (概要) この契約は、新空対艦誘導弾(XASM-3)の実用試験において性能評価を行うために必要な機能・性能を、艦型標的に付加する改修等を行うものである。	特になし。
		1者応札・1者 応募案件に係 るサンプリング 調査審議	一般競争	(1者応札) ・乗用草刈機(集草機能付)外14品目 ・GENERATOR, SIGNAL修理(診断)外2品目	特になし。
			随意契約	(1者応募) ・DUCT ASSY外20品目 ・COVER外127品目 ・PARACHUTE ASSY外7品目	特になし。
第 1 3 8 回 (2 8 ・ 1 0 ・ 1 2)	陸上 自衛隊	随意契約等に 係るサンプリング調査審議	随意契約	「多連装ロケットシステム自走発射機M270“オーバーホール”及び“改造”ほか4件」 (概要) この契約は、オーバーホールの作業工程において生産中止となった射撃統制装置の構成品の交換等(改造)を併せて実施するとともに「クラスター弾に関する条約」に基づく単弾頭弾(M31)射撃への対応のため、プログラムの改修を同時に実施している契約である。	契約金額が増加している主な原因を輸入部品等の高騰と回答されているが、この輸入部品の高騰の適正性を判断するには、輸入部品の価格自体の高騰と為替レート差による高騰部分を分けて精査する必要がある。それぞれの増加分について具体的に説明されたい。
					標準内作業の直接材料費内の外注加工費及び加工費の工数が不明であるため、契約金額の増加要因との関係性が不明である。
					前年度の低減係数が0.552、本件契約が1になっている。何故、減少傾向にあったものが逆に倍増したのか説明がつかない。理由がわからないにもかかわらず、会社見積書を受け入れることは、原価計算方式においては適切ではないと感じる。また、担当者が交代して明確な回答が得られていないということ自体、会社組織として理解し難い。再度調査し、説明していただきたい。
		1者応札・1者 応募案件に係 るサンプリング 調査審議	一般競争	(1者応札) ・小火器用弾道測定装置 ・災害派遣増加食, 栄養補助用, ゼリータイプビタミン補給用 ・戦闘糧食Ⅱ型, ポークソーセージステーキ ・戦闘糧食Ⅱ型, ウィンナーソーセージ	特になし。
			随意契約	(1者応募) ・交戦訓練用装置及び交戦訓練用装置Ⅱ型の整備業務等に関する委託 ・ナット セルフロックキングほか344品目	特になし。

開催 回	対象 機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項
第 1 3 9 回 （ 2 8 ・ 1 1 ・ 1 6 ）	海上自衛隊	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「魚雷Dレベル定期検査」 （概要） この契約は、海上自衛隊が保有する97式魚雷について、規定年数を経過した魚雷を対象に、部隊整備範囲外の検査を実施することで、信頼性を回復するものである。	プライムによる外注先査定において、ベンダーが詳細な数字を積み上げているにもかかわらず、プライム査定でそれを相当額下回る発注予定価格が付記（会社査定の「計」と「合計」が大幅に異なっている。）されており、結果的に発注予定価格がブラックボックス化されてしまっている様に感じる。減額の理由の説明は、どうやってやったかという方法論に終始しており、なぜそのような差が出ているのかについて具体的な説明がされていない。ベンダーが作成した見積書の数字をプライムが大きく査定していることが適切なのか、方法論ではなく、その理由の分析をした結果をもって計算価格として採用した妥当性について説明されたい。
					上記プライムが外注部分をカットしている部分の内訳資料があれば提出されたい。
		1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議	一般競争	（1者応札） ・フード、便乗者用	特になし。
			随意契約	（1者応募） ・航空武器等用部品（部隊整備用）BATTERY ・IM400－K34型ガスタービン（501－K34型ガスタービンユニット）機関部品 BLADE, TURBINE 外	特になし。
第 1 4 1 回 （ 2 9 ・ 2 ・ 1 5 ）	全機関	仕様書等に係るサンプリング調査審議	競争入札	（1者応札） ・災害派遣増加食、栄養補助用、ゼリータイプビタミン補給用 ・フード、便乗者用 ・乗用草刈機（集草機能付）外14品目 ・衛星搭載型2波長赤外線センサの研究試作 ・高出力レーザシステム構成要素の性能確認試験のための小型無人標的機操縦等 （複数者応札） ・1／2tトラック用左側カーテンほか42品目、1／2tトラック用左側カーテンほか36品目 ・艦艇用消毒剤 ・二次転写ユニット外275品目 ・汎用電子計算機（ノート型、デスクトップ型） ・自走試験模型の製造	①艦艇用消毒剤が製造物責任法第4条第2号に規定されている「部品又は原材料」に当たるのかについて、所管官庁に確認するなどした上で確実な回答をお願いしたい。 ②上記薬剤が、仮に製造物責任法第4条第2号に規定する「部品又は原材料」に当たる場合、免責の対象は日産化学工業と五光製作所のどちらになるのか。所管官庁に確認するなどした上で確実な回答をお願いしたい。 ③そもそも、法律上、製造物責任法上の責任と民法上の責任が併存する立付けになっているので、仮に製造物責任法上の責任が免責されるとなっても民法上の責任は免責されないと思われるため、製造物責任法上の免責の有無について議論の実益がないと考えるがいかがか。 ④国土交通省の型式承認において本件薬剤を使用することが前提となっているため、成分や濃度が同じであっても他の銘柄の薬剤を使用できないとの説明であるが、この点について、汚物処理装置の型式承認試験時において用いられた薬剤が特定銘柄の薬剤であった場合、検定に合格した汚物処理装置を実際の航行で用いる際の薬剤の銘柄は、当該特定銘柄に拘束されるか。汚物処理機装置製造会社及び承認官庁である国土交通省の見解を確認の上で説明されたい。 ⑤本件薬剤と汚物処理機装置の関係は、プリンターとトナーの関係のように専用品を購入する仕組みに見えてしまう。本件薬剤の契約相手方と汚物処理機装置の製造会社が共同で本件薬剤を開発したとの説明であるが、本件薬剤の契約相手方と汚物処理機装置製造会社の関係性について説明されたい。 上記①～⑤を説明し明らかにした上で、当初の着眼点⑥、⑦（一部修正）を回答されたい。 ⑥本件薬剤銘柄と異なる銘柄の薬剤を使用すると汚物処理装置の保証の対象外となるとの説明であるが、その理由について資料を示し具体的に説明されたい。 ⑦同じ成分、濃度、形状の薬剤が他にも複数あるようであるが、装置の調達段階において 銘柄の特定を避けるよう努める必要があると思われる。仮に今後も特定の銘柄を指定する場合、その理由について具体的検討を踏まえ説明をされたい。